

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表: 令和3年3月31日

事業所名 放課後デイサービスやまぶき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	児童の特性、その日の様子により、部屋を分けている。	部屋の広さとしては、約70㎡と広い方かと思われるが、保護者の中には、訪問されたことがない方もいらっしゃるため、部屋の全体像をHPにUPして御覧頂いたり、見学のお機会を設けたい。
	2	職員の配置数は適切である	8	0		人員配置基準を遵守している。個別支援計画の目標達成に向けて、児童それぞれの担当制の支援を始めた。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	8	玄関の外にスロープ、手すり設置、トイレに手すり設置。	玄関内側に段差がある。スロープ設置する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	月に1回行っている指導員の会議で問題点を話し合い、改善を図っている。	指導員全員からより活発な意見がでる会議にする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	保護者からのご意見を指導員全員で共有する。	頂いたご意見を真摯に受け止め、指導員の会議で具体的な改善策を話し合い、改善に向けて取り組む。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	HPで公開している。	HPをご覧になる機会がない保護者もいらっしゃると思うので、今後、紙面による会報を作成、配布予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		現在行っていない。今後、導入を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0	8	毎月の指導員会議時にテーマを決め内野勉強会を行っている。	外部研修にも参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	指導員の会議で児童・保護者のニーズを共有し全員の意見をとりまとめ支援計画を作成している。	送迎時に保護者とお話したことや、児童の様子等、些細なことでも情報共有し、会議時に全員が積極的な発言をすることにより、よりニーズに対応したサービス提供ができるようにする。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	8		現在、取り入れていない。今後、導入を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	指導員の会議で行っている。	指導員の会議で児童それぞれの特性に応じたものを考えている。指導員全員が活発な意見を出すことにより、より良い立案が出来るようになる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	節分・雛祭り…等々季節行事を行っている。	利用児童が肢体不自由児のため外出等の行事が難しい。室内でより児童が楽しめる行事を積極的な意見交換により考えていく。全員一緒に外出はマンツーマン対応ではないので困難だが、個別に車椅子で外出等、検討してみる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	長期休暇は、児童全体での取り組み、創作、個別での取り組みを決めている。	指導員の会議で決めている。より活発な意見交換により、よりきめ細やかな設定、支援を取り組んでいく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	指導員の会議で全員の意見により作成している。	保護者・児童のニーズにより沿った計画作成出来るよう、保護者・児童のニーズを指導員全員が把握、共有する。会議で積極的な意見交換によりニーズに応じた計画作成をする。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	保護者・学校からの連絡事項、前日までの児童の様子で気になること等を共有している。	慌ただしく行っているため、よりきめ細やかに行えるよう工夫する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	8	ホリホールの連絡事項等で支援の問題点を確認、共有出来るようにしている。	送り業務の有無によりシフトが異なるため、終了時に全員での打ち合わせは行っていない。よりきめ細やかに指導員全員が情報共有出来るよう、工夫していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	保護者への連絡カードに食事、水分摂取量、排泄、到着時、帰宅前体温、児童の様子等を記録している。	日々の記録を指導員全員が把握し、体調の変化の察知、支援の改善を行えるようにしていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	指導員会議で行っている。	指導員全員の会議での積極的な発言を促すため、担当制を始めた。指導員が担当児童の目標設定、見直しに責任を持ち、会議で積極的に意見を交換、擦り合わせを行う。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	0	8		指導員全員のガイドラインの総則のきめ細やかな理解を求め、支援を行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児童発達支援管理責任者・現場統括責任者が参画している。	